

令和7年度 高根沢町中学生海外派遣事業

フィジー共和国派遣



報告書



令和7年8月2日(土)～6日(水)
高根沢町教育委員会

目 次

- ・ 団長あいさつ・・・・・・・・・・P.1
- ・ 団員及び引率者一覧・・・・・・・・P.3
- ・ 5日間の足跡・・・・・・・・・・P.4
- ・ 海外派遣を終えて・・・・・・・・P.10

フィジー共和国での 主 な 活 動

フィジー共和国

人口：約 90 万人

面積：1 万 8270 km²

（四国とほぼ同じ）

首都：スバ

時差：3 時間

日本からの所要時間

：飛行機で約 9 時間

8 月 3 日 ナンディ近郊で市場や寺院などの施設見学
フェリーでマナ島へ移動

8 月 4 日 環境保全活動（珊瑚の養殖）
農園活動（パイナップルの苗植え）
現地の学生との交流

8 月 5 日 マリンアクティビティ
（シュノーケル・カヤック）



「大きな成長へ」

団長 荒井 武士（あらい たけし）

（高根沢町立北高根沢中学校長）



令和7年度の高根沢町中学生海外派遣事業が無事に終了し、御報告と御礼を申し上げます。

令和7年8月2日から8月6日までの5日間の日程で、中学生19名、引率者5名で、フィジー共和国での海外研修を実施しました。フィジー共和国は、美しい自然、心豊かな人々、海と陸の恵みに溢れた国です。また、我が国とも歴史的に長いつながりをもち、友好的な関係を築いてきた国でもあります。本町のフィジー共和国訪問は、中学生の国際的視野を広げるための特色ある事業として、これまでも多くの成果を残してきました。

今回のフィジー共和国訪問において、団員は様々な活動を行いましたが、大きなものとしては地元学生との交流が挙げられると思います。隣の島の学校に通う学生が、団員の活動拠点であるマナ島を訪れてくれました。交流の中で、地元学生にヤシの葉での編み物や織物などを教えてもらい、団員からは地元学生に向けて日本の折り紙を紹介しました。会話は英語でしたが、団員は積極的にコミュニケーションをとることができました。その後、団員からはドッジボールを紹介し、地元学生からはラグビーとネットボールを紹介され、スポーツ活動に汗を流しました。2時間ほどの交流でしたが、住所を交換し、手紙を書く約束をしていた団員もいました。遠い異国の地での子供たち同士の心の交流を目の当たりにし、団長としても胸が熱くなる思いでした。また、果物の苗植えや海水淡水設備見学を通して、環境保護の大切さも学ぶことができました。透明度が高いコバルトブルーの海と真っ白な砂浜、絵画のような美しさのサンセットなど、日本とは趣の異なる雄大な自然に子供たちも心を動かされたことでしょう。

今回の海外派遣では、団員一人一人が派遣前の研修段階からしっかりとした目標をもって参加していました。そして、5日間を通して様々な体験をする中で、今までにはなかったものの見方や考え方を身に付けることができたと思います。また、フィジー共和国の伝統や風習に触れたり、現地の人々との交流活動を行ったりする中で、自国の文化等と比較しながら双方の良さを感じとることもできました。海外研修で学んだことを今後の学習や生活に大いに生かし、将来、地域社会の発展に寄与するとともに、自国・海外の国で活躍できるような人材に成長していくことを期待しています。

最後に、今回の事業に御尽力いただきました高根沢町教育委員会をはじめ関係者の方々に心より感謝申し上げます。そして私たち派遣団を快く迎えていただきましたフィジー共和国の皆様、本当にありがとうございました。

For Their Greater Growth

Takeshi Arai, Head of the Overseas Students Delegation Team
(Principal of Kita-Takanezawa Municipal Junior High School)

Now that the 2025 Overseas Training Program for Takanezawa Town's junior high school students has been successfully carried out, I would like to report the results here, and express my gratitude to everyone who was involved in the program.

We, the town's 19 junior high school students and 5 leaders, participated in the overseas training program in the Republic of Fiji from August 2 to 6, 2025. Fiji is a country which has beautiful nature, generous and kind people, and the bounty of the sea and land. Also, historically, Fiji and Japan have been enjoying a good relationship. The town's Overseas Training Program, which is a unique project to let the town's junior high school students broaden their global perspective, has delivered numerous good results.

Among the many activities our students participated in, one of the major ones was interaction with local students. Local students whose school was located in the island different from Mana Island, where our students stayed at, took the time to visit Mana Island to take part in the interactive activity with our students. In the activity, local students taught our students how to weave palm tree leaves into cloth, and in turn, our students taught them how to fold *origami*. Seeing them communicating with each other in English, I found our students trying to speak English diligently. Then, our students showed how to play dodgeball and the local students introduced rugby and netball. Both Japanese and Fijian students enjoyed playing those games together. The activity lasted for about 2 hours. In spite of the short time, they became friends, and some students exchanged their addresses so that they can correspond with each other later. As the head of the team, I was moved to see Japanese and Fijian students enjoying the interaction. Seeing fruit seedlings planted, and visiting the seawater desalination plant, our students learned the importance of environmental protection. I believe that they were impressed to see the clear cobalt blue sea and the beautiful sunset like a picture, both of which they could not see in Japan.

Each of our students had been earnestly preparing for the Overseas Training Program with specific objectives in mind. Through the 5-day overseas training, I believe they learned new viewpoints and ways of thinking which they could not learn in Japan. Moreover, experiencing Fijian customs and traditions on their own, and interacting with local people, they were able to compare them with those of Japan, which allowed our students to understand better and appreciate both countries' customs and traditions. I hope that they will make the best use of their Fijian experience in their study and daily lives, which will help them contribute to their communities, and grow to be persons capable of working actively in the world as well as in Japan.

Last but not least, I would like to thank all the related persons who made the program possible, including people at the town's board of education, and Fijian people who warmly welcomed our students.

団員

No.	在籍校	氏名	ふりがな
1	阿久津中学校	赤羽 理那	あかば りな
2	阿久津中学校	前原 愛香	まえはら あいか
3	阿久津中学校	増沢 花漣	ますざわ かれん
4	阿久津中学校	岩本 史穂	いわもと しほ
5	阿久津中学校	馬籠 凛空	まごめ りく
6	阿久津中学校	水野 遥香	みずの はるか
7	阿久津中学校	柳田 結香	やなぎだ ゆいか
8	阿久津中学校	横田 京都	よこた みやこ
9	阿久津中学校	三浦 智栴	みうら ちか
10	北高根沢中学校	田崎 瑠菜	たさき るな
11	北高根沢中学校	七海 湊	ななうみ そう
12	北高根沢中学校	檜原 百子	ひばら ももこ
13	北高根沢中学校	石塚 瑞	いしづか みずき
14	宇都宮短期大学附属中学校	綿田 佑美	わただ ゆみ
15	矢板東高等学校附属中学校	岡本 恋依	おかもと れい
16	作新学院中等部	谷田貝 葉月	やたがい はづき
17	星の杜中学校	荒井 敬名	あらい けいな
18	作新学院中等部	古郡 康汰郎	ふるこおり こうたろう
19	宇都宮東高等学校附属中学校	内田 真優	うちだ まゆ

引率者

No.		在籍	氏名
1	団長	北高根沢中学校	荒井 武士
2		阿久津中学校	林 康子
3		町学校教育課	村上 浩史
4		町生涯学習課	野尻 友香
5		町生涯学習課	瀧 瞳



5日間の足跡



サンセットツアー（マナ島のビーチにて）

8月2日(土)

10:10	出発式
10:30	出発
13:00	成田国際空港到着
16:30	成田国際空港出発

出発式



町長より



教育長より



団長より



派遣者代表あいさつ



成田空港



飛行機

8月3日(日)

4:35	ナンディ国際空港に到着
6:00	ナンディ国際空港をバスで出発
6:30	メルキュール ナンディ ホテルにて朝食
7:30	マーケット・ヒンドゥー教寺院・市場見学
11:30	デナラウマリーナ港到着
12:15	フェリーでマナ島へ
13:30	マナ島到着・昼食
17:15	サンセットツアー
19:00	夕食
22:00	就寝

ナンディ国際空港到着



市場見学



フェリーでマナ島へ



マナ島到着



8月4日(月)

7:30	朝食
9:00	リゾートインスペクション 海水淡水化設備見学 下水処理施設見学 ハウスキーピング見学 農園活動（パイナップルの苗植え）
12:00	昼食
13:00	カバの儀式
14:00	現地の学生との交流会 環境保全活動（珊瑚の養殖）
17:30	サンセットツアー
18:00	夕食
19:30	ボンファイヤー（焚火）
22:00	就寝



海水淡水化設備見学



パイナップルの苗植え



珊瑚の養殖



現地の学生との交流会

8月5日(火)

6:00	モーニングウォーク
7:30	朝食
9:00	マリンアクティビティ シュノーケル・カヤック体験
12:00	昼食
13:30	環境学習修了書交付
14:00	フェリーでデナラウマリーナ港へ 到着後、お土産の買い物
17:30	夕食
20:00	ナンディ国際空港到着
23:55	ナンディ国際空港出発

シュノーケル体験



カヤック体験



昼食



環境学習修了書交付



8月6日(水)

6:10 成田国際空港到着
8:00 成田国際空港出発
10:30 町民広場到着

成田国際空港到着



町民広場到着



海外派遣を終えて



マナアイランドリゾートで働く方々と

「海外派遣を終えて」

赤羽 理那（あかば りな）

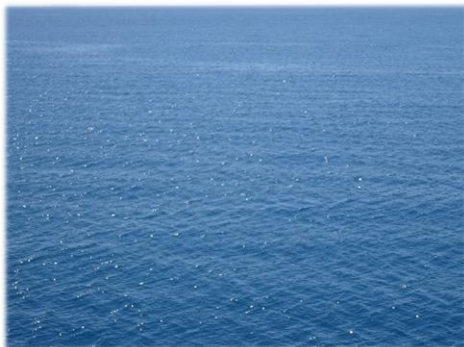


私は、異文化を理解し、国際的な視野を広げることを目的としました。また、現地の人と英語を使ってコミュニケーションを取ることも目標としました。

フィジーでは、暖かい気候と明るい人達に出会いました。現地の子供達と遊んだり、話したりしました。自然も豊かで、青い海がとても印象的でした。現地の人達は、とても親切で、たくさんのことを教えてくれました。

私が最も強く感じたことは、文化や環境の違いがあっても、人々の温かさや助け合いの精神は共通しているということです。異なる背景をもつ人々と交流することで、自分の視野が広がり、柔軟な考え方をもつことの重要性を実感しました。また、現地の課題を理解することで、今後の自分の活動に役立てたいと強く思いました。

この研修で得た経験を生かすために、まず異文化の理解を深める努力を続けることが大切だと感じました。また、現地の方々の声を尊重し、協力しながら課題解決に取り組む姿勢を持ち続けたいと思います。さらに、今回の経験を通じて得たことをまずは、親や友達などに話してフィジーのことを、たくさんの人達に知ってもらい、これからの人生において広い視野をもち、生活していきたいです。



After the Overseas Training

Rina Akaba

For the Overseas Training Program, I had objectives of understanding a different culture, expanding my perspective globally, and communicating with local people in English.

In Fiji, I came across its warm climate and cheerful people. I talked and played with Fijian local children, who were very friendly and taught me lots of things. I was impressed by the rich and natural Fijian environment. In particular, the blue sea was very beautiful.

The most important finding for me was that people's mind to care about others and help each other is common among humans even though their cultures and situations are different. I felt my horizons broadened when I interacted with local people who had a different cultural background from me. Through this experience, I realized the importance of having a flexible mindset. Also, I thought that I should understand the problems they have in Fiji now in order for me to solve similar problems in the future.

To make the most of my experience in Fiji, it is important for me to keep making effort to deepen my understanding of different cultures. At the same time, I would like to keep trying to work on solving their problems, respecting and cooperating with Fijian people. Moreover, I would like to tell my experience in Fiji to my family and friends to let them know lots of things about Fiji. For myself, I would like to live my own life with a broader mindset.

「フィジーでの研修を通して」

前原 愛香（まえはら あいか）



私は今年の夏、派遣団員としてフィジーへ行きました。

今回の派遣に向けて立てた目標が2つあります。

1つ目は、日本との違いや良さを見つけることです。フィジーの人達は、知らない私たちにも「Bula！」と明るく元気に声をかけてくれました。また、道ですれ違ったときや現地の学生との交流のとき、フィジーの人達のフレンドリーな雰囲気も良いところだと思いました。現地の学生達との交流のとき、折り紙の折り方を教えたり、一緒に遊んだりしました。仲良くなった学生達と話をしているときに英語が分からず、困ってしまうことが何度ありました。そんなときに、笑顔で分かりやすい単語を使って、ゆっくり話してくれ、フィジーの人の心の温かさが感じられました。そのため、私は言語の違いという大きな壁を感じていましたが、気持ちを伝えることで、心は通じ合えるということを学びました。

2つ目は、自分の英会話のレベルを確かめて今後の生活に生かしていくことです。私は、英会話教室に通っていますが、実際に現地の人と話してみても何と話しているのか理解できなかったことがありました。もともと人見知りな性格だということもありますが、自分の英会話のレベルを確かめることができました。これからも一生懸命に勉強をして英会話のレベルを向上していきたいと思いました。今後の生活では、何事にも屈せず、学んだことを最大限に生かしていきたいです。そして、フィジーの人達のようにキラキラした笑顔で困っている人に接したいと思います。

研修を終えて、自分自身の見方や考え方が広がり、改めて日本の良さに気づきました。また、言葉や文化が違って人を思いやる気持ちがあれば人は友達になれると実感しました。この研修を共に過ごした仲間や先生方、参加させてくれた両親にも感謝したいです。



Thanks to the Overseas Training in Fiji...

Aika Maehara

This summer, I visited Fiji as a member of Overseas Training Program team.

I had two objectives for the training. The first was to find the cultural differences between Japan and Fiji and to know good points of each culture. Fijian people were so friendly that they said “Bula!” to us even though we were strangers to them. Whenever I passed by local people on the street, and I participated in activities with local students, I felt how nice the atmosphere they could create. In the interaction activity, I taught local students how to make *origami*, and played games with them. While playing with them, I sometimes had difficulty understanding what they said in English. However, they were kind enough to smile at me and talk slowly to me in simple English that I could understand. Thanks to this activity, I knew that we can communicate with each other by trying to tell our feelings beyond the language barriers.

The second objective was to test my actual English conversation skills. Though I take English conversation classes in Japan, I sometimes could not understand what local people talked about. This might be partly because I am a shy person, but I could confirm my current English conversation skills. This experience encouraged me to work much harder to improve my English. In my future life, I will never give up on anything, and make the most of my experience in Fiji. Also, I want to take care of people in need with a smile as Fijian people are always doing.

The Overseas Training Program let me expand my perspective and rediscover good points of Japan. The training also let me learn that we can become friends regardless of the differences of language and culture if we have an open mind to take care of each other. I would like to thank my friends and teachers who participated in the program with me, and my parents who allowed me to join the Overseas Training team.

「国境を越えた学び」

増沢 花漣（ますざわ かれん）



私の今回の海外研修での目標は「英語力の向上」、「現地と日本の気候の違いを理解する」です。

フィジーに到着した時には空港で現地の人が生演奏で観光客を歓迎していました。1日目はフィジー市街の見学でした。現地の市場でココナッツは会計が済んだらその場で切ってくれるのが驚きました。2日目はホテル内の下水処理場見学、自然保護活動や現地の方と交流をしました。自然保護活動ではパイナップルの苗木を植え、改めて周囲は南国の植物が生えていることを実感できました。この活動を通して「現地と日本の気候の違いを理解する」ことについて確認できました。現地の人はフィジー語だけでなく英語も母国語のように話していたのが衝撃的でした。交流中、現地の人からはココナッツの葉の編み方やネットボールなどを教えてもらい、こちらからは折り紙の折り方を教えました。この交流で「英語力の向上」という目標を達成できたと感じています。

私がこの旅で少し不安だったのが現地の治安です。しかし、現地の人はとても優しく友好的に私達を受け入れてくれたことがとても嬉しかったです。フィジーでは自然保護活動が盛んなため海や植物が綺麗で、見惚れてしまうほど美しかったです。現地の気候は、極端に荒れることはありませんでしたが帰りのフェリーでは波が高く、日本ではかなり不安になりますが、現地の人によるとこのような状況は珍しくないらしく少し驚きました。

今後、私は様々な人にフィジーの魅力について伝え、将来に生かしたいと考えています。この旅で学んだことを伝えることで高根沢町と縁が深いフィジーとの国際親善に貢献できると感じました。また、私の将来の夢は気象や自然関係の仕事に就くことです。今回の旅でより気候や自然のことに理解が深まり、外国と関わる仕事にも興味が湧いてきました。最初は不安でしたが、まず挑戦してみることが大切だとこの海外研修で学ぶことができました。



Learning Beyond the Border

Karen Masuzawa

My objectives for the Overseas Training Program were “to improve my English skills” and “to understand the climate differences between Japan and Fiji”.

At the airport, we saw local people welcome visitors including us with live music. On the first day in Fiji, we looked around the city. Visiting a market in the city, I was surprised to know that we could have a coconut cut immediately after paying for it, and eat it on the spot. We spent the second day seeing the sewage treatment facility in the hotel we stayed in, and interacting with local people involved in environment protection activities. When planting pineapple seedlings as an environment protection activity, I noticed that I was surrounded by various tropical plants, which made me realize how different the Fijian climate was from that of Japan. Thus, one of my objectives was achieved. I was shocked to find that Fijian people can speak English like native speakers as well as their own mother language. In the interactive activities, we learned from local people how to weave coconut leaves into cloth and how to play netball, and in turn, we taught them how to fold *origami*. Through this interaction, I think I was able to carry out the other objective.

Before leaving Japan, I was worried about the safety in Fiji. However, I was relieved to see local people welcoming us warmly. Since Fijian people are working hard on protecting the environment, the sea and plants were so beautiful that I couldn't help but admire them. The Fijian climate was mild and we didn't experience rough weather during our stay there. However, when we boarded a ferry, the sea was rough enough to make me tense. I was surprised to hear local people say that such condition was not unusual.

From now on, I want to tell the attractiveness of Fiji to as many people as possible, and make the most of my experience in Fiji in my future life. By doing so, I believe I can contribute to strengthening the friendly relationship between the two countries. My future dream is to take a job related to weather and nature. Thanks to the Overseas Training Program, I came to know more about climate and nature. In addition, I became interested in a job involving international communication. At first, I was anxious about visiting a foreign country, but this program taught me that I should have the courage to try.

「人の温かさが輝く国フィジー」

岩本 史穂（いわもと しほ）



私は、フィジーに行く前に日本との共通点と相違点を見つけると決めて参加しました。

まず日本と重なるのは、人の温かさです。挨拶をすれば返ってくるだけでなく、日本から来た私たちにたくさん質問を投げかけてくださいました。私も見習いたいと思えた瞬間でした。また、礼儀の正しさにも重なる部分がありました。例えばマナ島に着いた時の歓迎の歌や「Bula」というとしっかり、「Bula」で返してくれるあたりにそう感じさせられました。空港に着いた時から様々な人に歌を聞かせてもらい、それまでの疲れも見事に吹き飛ばしてくれました。挨拶は、一般の観光客の方も「Bula!」と返してくれました。

次に、日本と大きく異なったのは部屋のトイレとシャワーが同じ空間にあったことです。すごく細かいことですが、今まで日本のホテルに泊まった時は、せめてカーテンで仕切られていたのでとても驚きました。また、市場の近くの道路などにゴミが落ちていたのが気になりました。海岸が目立たないところにも落ちていて、日本とは少し違うなと感じました。

でもやっぱり日本に帰ってきた今、フィジーに戻りたいと思ってしまいます。私は、フィジーで熱を出してしまったのですが、その時も人の温かさと豊かすぎる自然で乗り切れました。海に入ったら熱が一時的に下がったりして、フィジーってすごいなと思いました。そして今回の派遣から学んだことは、自分から色々な人に話しかける勇気をもつことです。これは様々な場面で使うことですが、勇気を出して話しかけていくことで世界は広がります。実際、英語以外の言語で話してくださった方もいて、とても勉強になりました。もしまた外国に行く機会があったらこの経験を存分に活かしたいです。



Fiji: Where You Can Feel People's Warmth

Shiho Iwamoto

I visited Fiji with the objective of finding common points and different points between Japan and Fiji.

One common thing between Japan and Fiji is people's warmth. When I saw Fijian people not only return a greeting, but also ask us questions showing that they cared about us, I felt that we should do the same thing in Japan, too. Another similarity is people's politeness. For example, they welcomed us at the airport singing songs, and said to us "Bula!" whenever I greeted them. Listening to welcome songs at the airport, all my tiredness was gone. It was interesting that tourists from other countries said "Bula!"

On the other hand, I found that a Fijian bathroom was very different from a Japanese one. In Japan, a toilet and a shower are usually separated, or partitioned with a curtain in a small bathroom. But in Fiji they were in the same space. Also, unlike Japan, there seemed to be more garbage on the street. I found some even at places such as beaches where few people visited.

Despite some of those negative points mentioned above, now in Japan, I feel like returning to Fiji. While I was in Fiji, I had a fever, but I recovered thanks to the local people's kind care and Fiji's rich nature. When I got into the water of the beautiful sea, I felt my fever temporarily went down. I was impressed by the power of nature. Another thing I learned from the overseas training is that I should have the courage to initiate conversations with various people. By doing so, I believe that I can broaden horizons in my life. Actually, in Fiji I was talked to by some people in languages other than English. When I have a chance to visit foreign countries, I would like to make the best use of my experience in Fiji.

「世界は繋がっている」

馬籠 凜空（まごめ りく）



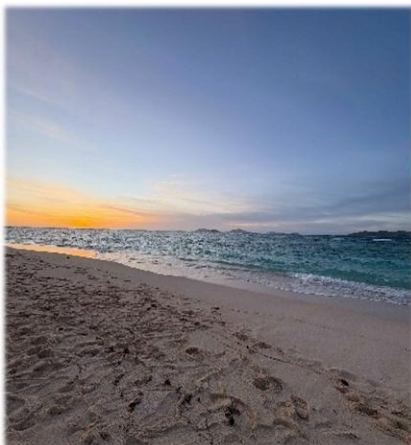
僕は、今回の海外派遣事業研修において、1つの大きな目的に主に焦点を当てて参加しました。外国などの自国と違う文化に触れ、理解するという目的です。

まず、今回の研修先のフィジーでは、現地の人に「Bula」と言うと必ず「Bula」と返事が返ってきます。そこで僕は、現地の人々の温かさに触れました。日本でもこのようなことが日常的になるといいと思います。

次に、食べ物についてです。フィジーの主食は、タロイモやキャッサバといったイモ類のものでした。今回の研修は、大半がホテルのバイキングでした。日本のような白米もありましたが、パサパサしていて日本のものとはまた違う食感でした。そして、何より僕が驚いたものは果物です。日本の南の島の果物よりもはるかに甘く、みずみずしくて何回もおかわりに行ったのを覚えています。

最後に環境についてです。今回の研修先の大半を過ごした島、マナ島での淡水濾過装置は、1994年に日本から輸入したものらしいです。マナ島では絶対に汚水を海に流さないことを徹底しているようで、一度使用された水は3工程で処理をし、ある程度綺麗になったらスプリンクラーなどで水をまいたり、植物の水やりにも使用したりしているそうです。一方飲料水はというと、毎回海の水を飲料水に変えているらしいです。そんな環境を大事にしている島では、海がとても綺麗でサンゴ礁が広がっていました。僕たちも今回、環境保全活動としてサンゴを移植しましたがとても難しかったです。

今回の研修で僕は、人と人は国を跨いでも繋がっていること、環境が良い、島や海が綺麗なのにも努力があるということを学びました。今回研修で学ばせていただいた数多くの経験を多くの人に伝えていきたいです。



The World Is Connected

Riku Magome

I participated in the Overseas Training Program focusing on one objective: to experience and understand a foreign culture that is different from Japanese culture.

First, I found that Fijian people never failed to return greetings when I said to them “Bula!” I think such behavior of them shows their warm-heartedness. I wish Japanese people could always behave as Fijian people are naturally doing.

The second topic is food. I learned that the Fijian staple food are root vegetables such as taros and cassava. During the program, we mainly had buffet meals at the hotel. The rice available there looked like Japanese rice, but Fijian rice was not as sticky as Japanese rice. To me, it tasted very different from Japanese rice. What surprised me the most was fruit. Fijian fruit was much more fresh and sweeter than any Japanese fruit I had ever eaten. I remember visiting the buffet stand many times to take more fruit.

The third topic is an environment problem. I heard that the seawater desalination system in Mana Island, where we mainly stayed, was imported from Japan in 1994. I also learned that they strictly make sure that no domestic wastewater flows into the sea around the island. The wastewater is processed through three steps to make the water usable for watering plants. As for drinking water, they desalinate seawater to make drinkable water. Thanks to their great effort to protect the environment, the sea and coral reefs were so beautiful. I tried planting corals as an environmental activity, which I found was very difficult.

The Overseas Training Program taught me that humans can be connected to each other beyond national borders, and that the environment is protected by people who work hard to preserve it. I would like to tell what I learned in Fiji to as many people as possible.

「フィジーで学んだこと」

水野 遥香（みずの はるか）



私は、今回の中学生海外派遣事業に参加するにあたり『ネイティブな英会話を学ぶ』『海外の自然環境を学ぶ』という2つの目的がありました。私は将来、自然や動物に関わる仕事が出来たら良いなと考えています。そのために、日本とは全く異なる環境のフィジーで学ぶことで、良い経験になると思ったからです。

私は、フィジーで次のことを学びました。まず、フィジーの人々についてです。フィジーの方々はとても心優しくかったです。そのおかげで、リラックスして会話が出来ました。フィジーでは英語の他に、フィジー語とヒンディー語が使われていました。現地の子供達と交流した際、子ども同士ではフィジー語を使っていて、日常の中で2か国語も使えるなんてすごいなと感じました。フィジーの英語は、私たちが普段習っている英語と少し違う発音のものがあると感じました。フィジーでは、英語で現地の方々と話をしたので、英語力の向上につながったと思います。

次に、フィジーの自然についてです。フィジーの海はとても青く澄んでいて、浅い所では魚が泳いでいるのが水面上からも分かりました。海の他にも緑がとても多く、日本では見たことのない種類の木がたくさん生えていました。木もすべて高く、日本では味わえない光景でした。訪問したマーケットでは、様々なフルーツや野菜がたくさん売られていました。一つ一つのサイズが大きくとっても驚きました。

またフィジーでは水がとても大切に使用されていることを知りました。マナ島では、海水を真水に変える装置の見学をしました。海水を汲み上げきれいにして、飲み水や生活用水として使うそうです。そして使用後の水も再度きれいにして使うそうです。一度使用した水は、二度とそのまま海に戻さないということにとっても感心しました。

私は、この派遣事業に参加し貴重な体験がたくさん出来ました。フィジーで学んだことを色々な人に伝え、将来に役立てたいです。



What I Learned in Fiji

Haruka Mizuno

I participated in the Overseas Training Program with two objectives. They were; to improve my English conversation skills, and to learn more about the environmental problems. I want to take a job related to nature and animals in the future. I thought my experience in Fiji, which is environmentally different from Japan, would help me realize my future dream.

The first thing I learned in Fiji was that Fijian people were very warm-hearted, so I could talk with them without getting nervous. In Fiji, Fijian and Hindi were spoken as well as English. While working on the interactive activity, I found local children use Fijian when talking with their friends. I was surprised to know that they can use two languages in their daily life. I also found that their pronunciation of English was a little different from what we learned in Japan. I talked a lot with local people in English, which I believe would help me to improve my English skills.

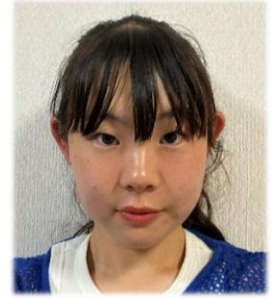
My second objective was about Fijian nature. The sea of Fiji was blue and so clear that from land I could see fish swimming in shallow water. There was a lot of greenery on land, too. I found some trees which I had never seen in Japan. Also, the trees were very tall. At the market I visited, various fruits and vegetables were sold. To my surprise, each fruit and vegetable was much bigger in size than I had expected.

I learned that in Fiji, water is used very carefully and importantly. In Mana Island, I visited its seawater desalination plant, which converts seawater into fresh water for the island people's domestic water. The wasted water is treated again to convert into usable water. I was impressed to know that they make it a strict rule that no wastewater flows directly into the sea.

I had a lot of precious experiences in Fiji. I would like to tell what I learned there to many people and make the best use of the experience in the future.

「派遣に関する課題と感じたこと」

柳田 結香（やなぎだ ゆいか）



1. 私の研修での目的と課題

- ①異国の文化や習慣に触れることで、それぞれの国の多様性を理解できるようにすること。
- ②自立する心を養う。
- ③進んで英語環境に身を置き自分が今まで学んできた英語力が海外に通じるかを確かめる。

2. 現地での様子

現地で私は課題に前向きに行動できたと思う。例えば進んで会話をして現地の友達をたくさん作ったり、質問したいことは恥ずかしがることなく英語で質問をしたりできた。

お土産を買う際に日本にはないセントというお金の単位にすごく戸惑った。その時現地の人達は払い方を教えてくれた。また、商品の値段を店員さんに聞いたり、お金が足りない場合は換金ができる場所はどこかを今まで習ってきた英語を使って質問をしたりすることが出来た。

3. 感じたこと・思ったこと

この経験を通して、文化や習慣は国によって違うのだという事を再認識した。人に会ったら他人でも挨拶をするところ、街中でギターを片手に楽しそうに歌っているところ、時間に追われないところ。どれも日本ではあまり見かけない。国の文化や習慣を理解し、なんでも受け止める覚悟がないと海外の人と交流するのは少し難しいと思った。私がフィジーで一番つらかったことは、食事だ。なれない食事、また生活でお腹や体の調子があまり良くなかった。これもやはり国の違いというものを感じた。だが、この経験が私の成長に繋がったと思う。食事が合わなくてお腹の調子が悪いときは、軽いものを食べて対策を考え、薬を服用した。このような自分で考えて、行動に移す自立の力が付いたと思う。

4. 研修の経験を今後どのように活かすか

環境の問題が今世界で注目されている中で、フィジーは自然を大切にし、自然を汚さない活動をしていた。このようなことを踏まえ、私も将来環境を守り自然を大切にするための策を考え、世界で活躍していきたいと考える。



My Objectives and Impressions of the Overseas Training

Yuika Yanagida

1. My objectives for the Overseas Training:

- (1) to know diversity of countries by experiencing a foreign country's culture and customs
- (2) to develop my own sense of independence
- (3) to check whether I can make myself understood in English in the country where English is actually spoken.

2. What Fiji was like:

I think I was proactive to achieve my objectives. For example, I talked a lot with local people and became friends with some of them. I was able to ask them questions without hesitation. I had trouble using local money when I bought souvenirs because I was not used to the currency unit of "cent." The sales clerks at the souvenir shop were kind enough to teach me how to pay. Also, I could ask them where I could exchange money using English I had already learned at school in Japan.

3. My impressions:

Through the Overseas Training Program, I reconfirmed that cultures and customs are different from country to country. In Fiji, I saw people exchanging greetings cheerfully with each other, some people singing songs to the guitar on the street, and most people not being worried about the time. I can hardly see those things in Japan. I thought unless we understand foreign cultures and are ready to accept everything, it is difficult to interact with foreigners. The most serious problem I had in Fiji was food. Due to unfamiliar food and unusual life during the program, I was not feeling well with my stomach. I sadly realized that I was staying in a foreign country. However, this experience allowed me to foster my independence. I thought by myself how to improve the situation. So, I tried to have a light meal when I didn't feel well, and sometimes took medicine.

4. How to make the best use of my experience:

Now the environmental problem draws worldwide attention. In Fiji, people are working hard on protecting the environment and trying not to pollute it. Learning from them, I want to think about how to preserve the environment, and in the future, I want to play an active role in the world.

「笑顔溢れる明るいフィジー」

横田 京都（よこた みやこ）



私はこの研修に参加するにあたって掲げた、将来の夢につながる3つの目標は、「コミュニケーション能力の向上」「日本とフィジーの日常生活の違いに気づく」「フィジーの自然を体験する」でした。

現地での環境保全活動や、交流など沢山の活動を通して、フィジーの文化を深く知ることができたと思います。最初に本島のスーパーや寺院、市場を訪れました。市場では、日本人だとわかると「こんにちは」と挨拶してくれた人や、バナナを食べながらココナッツの販売をしている人がいて、陽気な人が多かったことが印象的でした。また、港周辺を歩いていたときはフィジーの人とジェスチャーを交えながらお互いの国の話をして、英会話でコミュニケーションをとることに自信を持つきっかけとなりました。

そして、マナ島へ移動してたくさんの活動を行う中で気づいたことが3つあります。

1つ目は、フィジーの人はとてもフレンドリーだということです。フィジーの学生の方々と交流をしたとき私は少し緊張していましたが、日本語とフィジー語の数字を教え合ったり一緒に遊んだりして仲良くなることができました。

2つ目は、ギターやウクレレの音色に合わせてよく歌っているということです。日本でいう東屋のような場所ではみんなで歌っているのをよく目にしました。島に着いたときやハウスキーピングを担当する方々、交流の締めくくりや船でマナ島から本島に帰るときに歌を聞かせてもらい、フィジーの方々の心の温かさに気づけました。

3つ目は、フィジーの豊かな自然です。海では魚の群れを見ることができ、丘の上からは広大な自然を見ることができました。私たちが体験した環境保全活動で、未来の自然環境を守ることができたら嬉しいです。

最後に私は将来、通訳者になることを目指しています。今回の海外派遣事業で得た英語力や、感じた文化や自然を将来に向けて活用していきたいです。



Fiji: Bright Country Full of Smiles

Miyako Yokoto

For my Overseas Training, I set forth three objectives which have something to do with my future dream. They are “to improve my communication skills,” “to notice the difference of daily lives between Japan and Fiji,” and “to experience Fijian nature.”

Participating in various activities in Fiji, such as an environment protection workshop and interaction with local people, I deeply understood Fijian culture. When I visited a supermarket and a temple in the main island on the program’s first day, local people said to me “*Konnichiwa*” because they knew I was from Japan. I also saw some of them selling coconuts while eating bananas. Seeing them, I formed a good impression that most of Fijian people were bright and cheerful. While walking around the port, I met local people and talked with them about our own countries in English and with gestures. This was a good opportunity for me to become confident about my communication skills in English.

In Mana Island, I participated in a lot of activities, and the following three things attracted my attention. First: Fijian people are very friendly. In the interaction activity with local students, at first, I was a little nervous. However, as we taught each other how to count numbers in our languages, and played games together, we became good friends.

Second: Fijian people like to sing. I heard many people singing songs to the guitar or ukulele at gazebos. They sang a welcome song and a farewell song for us when we arrived at and left the island, and our hotel’s housekeepers sang songs for us. It was heartwarming to listen to their songs.

Third: Fiji is rich in nature. In the sea, I saw schools of fish, and from the hill, I saw wonderful natural sceneries. I hope the environment protection activities we participated in during the training will contribute to protecting the Fijian environment, even if small.

I want to become an interpreter in the future. I will make the best use of what I learned in Fiji to achieve my future dream.

「フィジーで学んだこと」

三浦 智椋（みうら ちか）



私は今回の海外事業研修において、2つの目標をもち参加しました。

1つ目は、自分の英語力を試すことです。初めての海外で、自分の英語が通じるのかとても不安でした。しかし、フィジーの方たちはとても優しく、友好的でした。私は、ジェスチャーやこれまで培ってきた英語を生かして、現地の人々と会話をすることができました。時々分からない内容もありましたが、その際も先生方や仲間に助けをもらいながら、楽しく交流することができました。「自分の英語が海外の人たちに通じた」、この体験は、私にとってとても大きな自信に繋がり、今までの学習の成果を実感できる貴重な経験となりました。

2つ目は、日本との違いを知ることです。日本には、時間に正確で規律を重んじる文化がありますが、フィジーには「フィジータイム」と呼ばれる、ゆったりとした時間の流れを大切にする文化がありました。時間に追われない、いつかはなんとかなるだろう、相手が待ち合わせ時間に来なくても「まあいっか」、このような日本の感覚とは異なった文化です。幸福度世界一に輝いたこともあるフィジー。初対面の人たちにも笑顔で気さくに声をかけ合い、フレンドリーに接する文化もありました。これらの違いを体感したことは、異文化理解を深めるうえで非常に貴重な経験となりました。

フィジーで過ごした3日間は、私にとって最高の思い出になりました。海は透き通るように青く、あまりの美しさに感動し、思わずその場に立ち尽くすほどでした。あの光景は私の心に強く刻まれています。また、海外の人と話す楽しさや、英語が通じた時、友達ができた時の喜びは一生忘れません。今後は、今回の経験を生かして、英語力をより一層向上させたいと思います。そして、将来の夢である航空管制官という仕事に就くことができるように頑張っていきたいです。「VINAKA！（ありがとう）」



What I Learned in Fiji

Chika Miura

I participated in the Overseas Training Program with two objectives.

The first one was to check my English skills. At first, I was afraid that I couldn't make myself understood in English because this was my first trip abroad. However, Fijian people were so friendly and considerate that they tried to understand what I wanted to tell, even though I talked to them using only what I had learned at school and with gestures. When I had difficulty understanding what local people were saying, my teachers and friends helped me. This experience allowed me to confirm my current English skills, and gave me some confidence.

The second objective was to know the differences between Japan and Fiji. In Japan, we highly value discipline and punctuality. On the other hand, in Fiji they have "Fijian Time," which lets them live slowly and peacefully. They didn't seem to be pushed for time. They tend to think "Everything will be OK in the end." When a friend doesn't show up on time, they will say "It doesn't matter." I think this is one of the cultural differences between the two countries. I heard that Fiji had once ranked first in the World Happiness Report. Fijian people can talk friendly with others even though they are strangers. I witnessed these cultural differences on site. I believe this experience will help me understand foreign cultures more deeply.

The three days in Fiji were the most precious and memorable days for me. The clear blue sea was so fascinating that I couldn't leave there for a while. It was another memorable experience that I could make myself understood in English and become friends with local students. I will make use of the experience to realize my future dream of becoming an air traffic controller. "VINAKA!" (*Arigato*)

「フィジーでの経験とこれからの私」

田崎 瑠菜（たさき るな）



私は、今回の海外派遣において3つの目的と課題を立てました。

1つ目は「フィジーと日本の文化の違いを知る」ということです。

フィジーでは、日本ではあまり馴染みのないサンゴの養殖やウミガメの保護活動を行っていました。サンゴの移植体験では、サンゴの生きている部分がほんの少しかったことにとても驚きました。ウミガメの保護活動については、ウミガメが大切に保護されているのを見て感動しました。また、フィジーではラグビーが有名だそうで、私たちはラグビーに似ているネットボールをフィジーの中学生たちと一緒にやりました。さらに、フィジーでは、日本でなかなか見かけないココナッツジュースを飲みました。スイカのような味がしてとても美味しかったです。

2つ目は、「自分の英語力を向上させる」ということです。実際にフィジーでは、現在地が分からなくなってしまった時に、声をかけてくれた方がいました。その時に、自分が伝えたいことが上手く英語で表現できませんでした。積極的に英語で話す意識はもっていましたが、いつもの学校の授業で書いたり読んだりするのとは違って難しさを感じました。

3つ目は、「人見知りを直す」ということです。空港ではフィジーの方がギターを弾いていて、私たちを迎えてくれているようでとてもうれしかったです。マナ島でも、女性の方々が歓迎の歌を歌ってくれました。街中を歩いている際には「Bula!」とフレンドリーにあいさつをしてくれて、こちらもうれしい気持ちになり、だんだん自分からも声をかけられるようになりました。

今回の海外派遣事業を通して、英語でのコミュニケーションを恐れずに積極的に行っていきたいし、周囲の人との関わりについても恥ずかしがらずに気さくに話しかけていきたいと思います。また、日頃の日本での生活では、中々経験できないことを知ることができたので、フィジーと日本のそれぞれの良さを周りの人にも伝えていきたいと思います。



Experience in Fiji and My Future Self

Runa Tasaki

I set up three objectives for my Overseas Training in Fiji.

The first objective was “to understand the cultural differences between Japan and Fiji.”

Fijian people are working on coral aquaculture and protection of sea turtles, both of which are not familiar to most Japanese. Participating in the coral aquaculture activity, I was surprised to know that corals have a very small living part. As for sea turtle protection, I was impressed to know how carefully they were protected. I heard that Fiji is famous for rugby. We enjoyed playing netball, which is similar to rugby, with local junior high school students. I tried drinking coconut juice, which is rarely available in Japan. It tasted like watermelon and was delicious.

My second objective was “to improve my English skills.” When I was lost on the street in Fiji, a stranger talked to me, I was not able to tell the kind stranger what I wanted to in English. Though I tried not to hesitate to express myself in English, I had difficulty making myself understood in English that I had learned at school. I realized that using English actually was more difficult than studying it at school.

The third objective was “to overcome my shyness.” At the airport, I heard local people sing a song to the guitar. I felt they were singing to welcome us, which made me feel happy. In Mana Island, local women sang a welcome song for us. When I walked around in the town, I was greeted “Bula!” by many people. Gradually, I became able to say “Bula!” to others without hesitation.

After the training, now I want to make further effort to communicate more with others in English, and get along with people around me without becoming shy. Also, because I had lots of precious experiences in Fiji, I want to tell them to the people around me.

「海外派遣で学んだこと」

七海 湊（ななうみ そう）



私は、フィジーで現地の人々と積極的に英語でコミュニケーションをとり、自分の英語力を試すことを達成しようと思いました。また、一緒に行くメンバーとたくさん話したり、仲良くしたりすることも目標として望みました。

空港に到着し、入国審査で早速英語を使う機会が訪れました。英語のスピードが日本と違い、聞き取るのが難しかったですが、理解し、答えることができました。空港の外に出てみると日本と全然景色が違いました。まず、スーパーに行きました。フィジーのスーパーは日本で見る事のない珍しいものがたくさん売っていました。そして、マナ島に向かうために船に乗り、フィジーの海を眺めました。海が透き通っていてすごく美しかったです。マナ島につき、夕日を見に行きました。夕日をバックに映る海がすごく幻想的でした。2日目は、島の施設を訪問しました。海水から飲める水に変えることを島で行っていることに驚きました。そして、現地の子ども達と交流をしました。積極的に会話し、折り紙を英語で教え、ドッジボールをしました。とても楽しかったです。夜は、マジックショーを見ました。びっくりすることの連続でした。3日目は海でシュノーケリングとカヤックをしました。珍しい魚を間近で見ました。

5日間通して派遣メンバーとたくさん話し、仲良くなれてとても楽しかったです。フィジーに行き様々なことを感じました。水が無駄にしない、サンゴや環境を守り大切にすることで、たくさんの人が訪れ、笑顔になり、環境の大切さを伝えられるのではないかと思います。私も、今後環境を大切に生活していきたいです。日本で外国の人が困っていたら話しかけて助けていきたいです。これからももっと英語の勉強をしてスムーズにコミュニケーションをとれるように頑張っていきたいと思います。



What I Gained from the Overseas Training

Sou Nanaumi

I participated in the Overseas Training Program with the following two objectives. One was to test my current English skill level by communicating with local people in English. The other was to enjoy talking with as many team members as possible to strengthen our friendship.

Soon after arriving at the airport, I had a chance to test my English skills at the immigration inspection counter. Though the immigration officer spoke English too fast, I managed to listen to him and answer the questions. Going out of the airport, I was surprised at the scenery completely different from that of Japan. On the first day in Fiji, I visited a local supermarket, where I found a lot of things I could not see in Japan. Then, I got on a ferry to move to Mana Island. The sea I saw from the ferry was very clean and beautiful. Arriving at Mana Island, I saw the sunset on the beach. The sea shining with the setting sun was like an illusion. On the second day, I visited the island's facilities. It is surprising that drinking water is made from sea water in the island. On that day, we interacted with local children. I taught them how to fold *origami* using English, and enjoyed playing dodgeball with them. That night, I saw a magic show, which surprised me a lot. On the third day, I went snorkeling and kayaking. While I was enjoying those activities in the sea, I saw strange fish very closely.

Through the 5-day Overseas Training, I talked a lot with my team members and deepened our friendship. At the same time, I learned many things in Fiji. They use water very carefully, and try hard to protect nature, including corals. I believe such effort of them will make people smile and attract visitors to the country. Also, those who visit Fiji will reconfirm the importance of environment protection. Now in Japan, I will lead my life respecting nature, and helping foreigners in trouble in Japan. I want to improve my English skills so that I can communicate with many people.

「サンゴ礁をこえて」

石塚 瑞（いしづか みずき）



私の海外派遣事業参加の目的は2つあります。ひとつは自分の英語力を確かめること。もうひとつは本やインターネットではわからないフィジーの気候や文化そして空気を感じてくることです。

フィジー滞在中は現地の方が明るく誰にでも「Bula!」と話しかけてくれました。また、お店のスタッフが他のお店の商品をすすめてくれることに驚きました。明るい性格や人々の優しい心遣いが文化としてフィジーに根づいていることに感心しました。

またフィジーでは海水を真水にする海水淡水化技術が用いられ、日本企業が協力していることが嬉しかったです。一方で海水温の上昇はサンゴ礁の生態系に甚大な被害を与えているそうです。私達の行ったサンゴの移植はほんの小さなことですが、サンゴが育って海を守ることに繋がってほしいと思います。

私の海外派遣での目的はほぼ達成できました。英語を使ってホテル内で困り事を話して解決したり、スーパーで買い物をしたり、現地の人たちと交流したりすることができたからです。しかし会話を続けることの大切さと難しさも知りました。これからは英語だけではなく人との繋がりも意識していきたいです。なお、今回の海外派遣事業で得たことがあります。それは友人です。中学校も異なり最初は話したこともなかったのに、たくさん語り合い、笑ってばかりの5日間でした。カヤックやシュノーケルで一緒に見た景色を私は一生忘れないでしょう。

フィジーでの経験を通じて、広い視野で物事を考え自分の目で見て歩くことの大切さを知りました。そしてフィジーの人々のような明るく優しい心を持ちたいです。13歳の今の私が見たこと感じたことを忘れず、今後は自分が海外との橋渡しができる存在でありたいです。そしていつか私が植えたサンゴを見に行きたいです。



Beyond the Coral Reef

Mizuki Ishizuka

I had two objectives to achieve in the Overseas Training Program. They were to test my current English skill level, and to feel Fijian culture and climate which I wouldn't know by reading books or searching the Internet.

In Fiji, most local people greeted me cheerfully saying "Bula!" When I went shopping, the shop clerk there recommended me a good sale at another shop, which seemed to be strange for me. I was impressed to know that a cheerful personality and warm consideration to others are completely a part of Fijian culture.

In Fiji, the seawater desalination system is being used. I was happy to know that Japanese companies are cooperating to make the system possible. However, I was sad to know that the ecosystem in coral reefs is being disrupted due to rising seawater temperatures. I participated in the activity of planting corals. Though my action was very small one, I hope the action will contribute to protecting corals which, in turn, protect the island.

I believe I achieved the two objectives. I was able to solve problems at the hotel by talking with staff in English. I went shopping at a local supermarket, and interacted with lots of local people. At the same time, I found it important but difficult to keep a conversation moving. I realized that I need not only to improve my English skills but also to consider relationships with other people. There is another gift I obtained from the overseas training.

I became friends with students from different schools. At first, we hesitated to talk, but soon we began to talk and laugh a lot together. I will never forget the scenes we saw together when we went kayaking and snorkeling.

Thanks to the experience in Fiji, I understood the importance of having a wide perspective and thinking on my own. Also, I want to be a bright and warm-hearted person like a Fijian. Never forgetting what my 13-year-old self experienced and felt in Fiji, in the future, I want to become a bridge between Japan and Fiji, and someday I want to see the corals I planted.

「自然と心の豊かな国 フィジーを訪ねて」

檜原 百子（ひばら ももこ）



私はこの海外派遣事業を通し、「フィジーの人達と交流して英語力を上げる」、「怖がらず勇気を出してコミュニケーションをとる」ことを目標として参加しました。

現地に着いてからは、いろいろなことがありました。まず入国してから急に首に貝殻のネックレスをかけられ、これが海外の歓迎なのだと感じ、とても嬉しかったです。そしてバスに乗り、マーケットや寺院や船乗り場に行きました。そこでは初日から様々なお土産を買うことが出来ました。お店で決心して店員さんに英語で声をかけて買うことが出来たプレスレットは自分の宝物のようなものです。更に、島でもいろいろな思い出ができました。フェリーに乗り迎えられたマナ島では、日本にいたら見られないようなフィジーの広大な自然と人々の温かさをこの身で感じる事が出来ました。「Bula!」この言葉を私は何回言ったのでしょうか。島でスタッフの人に言い、返してもらったときに私は挨拶の温かさをもう一度海外で実感することが出来ました。地元学生との交流では、折り紙でパタパタする折り鶴を作ってあげた時に喜んでもらったのが、私もとても嬉しかったし、自分に自信をもつことが出来ました。フィジーの海は魚が泳いでいるのが見えるほどで、シュノーケリングやカヤックでは更に広く輝く海を感じる事が出来ました。

この海外派遣事業を通して、文化を伝え合い、楽しみながら分かち合うことが交流なのだという事を感じました。それだけで、海外へ行けて良かったと思いました。そして、現地でココナッツを味わったり、サンゴ礁を植えたり、街の豊かな自然を見たりした経験は、もっと環境の事について考えていきたいというきっかけになりました。

これからは、日常生活でも恐れず自分からどんどん行動していきたいです。そして、英語の学習を頑張って他の国にも行ったり、将来の夢にも役立てたりしていきたいです。



Visiting Fiji, A Country with Rich Nature and Warm-Hearted People

Momoko Hibara

I participated in the Overseas Training Program with the objectives of “improving my English skills by interacting with Fijian people” and “not hesitating to communicate with them.”

As soon as I arrived at the airport, I had an unexpected experience. A local person put a necklace made of seashells around my neck. I was very happy to feel that I was welcomed by them. From the airport we got on the bus and visited a local supermarket, temple and the ferry terminal, where I bought various souvenirs even though it was the first day in Fiji. In a souvenir shop, I gathered up the courage to talk to a shop clerk and bought a bracelet, which is a treasure for me. I made a lot of good memories in Mana Island where we go by ferry. I was impressed by magnificent nature which I couldn't see in Japan, and by the warm-hearted local people. How many times did I say “Bula!” while I was in the island? When I said “Bula!” to local staff members, and they returned “Bula!” to me, I realized how warm a greeting could make us feel. In the interactive activity with local students, I showed them how to make *origami* of a movable crane. They were very pleased to see the *origami* crane moving. Seeing them enjoy *origami*, I felt happy and became confident. I enjoyed kayaking and snorkeling in the sea which was so bright and clear that I could see fish swimming.

Thanks to the Overseas Training Program, I came to know that “international exchange” means that we tell our cultures to each other, and that we appreciate and enjoy each culture. The Overseas Program was worth participating in because I understood it. Also, my experience in Fiji, including tasting coconuts, planting corals, and seeing rich nature, gave me a chance to think seriously about environmental problems.

From now on, I would like to behave without hesitation in my daily life, learn English much more, and visit foreign countries, in order to realize my future dream.

「私がフィジーで得たこと」

綿田 佑美（わただ ゆみ）



英語をいつか話せるようになりたいと思っていた私にとって、英語を話す自信を身につけることが今回の派遣事業の課題でした。フィジーに行って現地の人と一緒に食文化を学んだり環境保護の活動に参加したりすることで、英語を話す機会を得ることができました。

フィジーの空港に着いたとき、空港の看板が全て英語で書かれていたので、いよいよ英語を話す国に着いたのだと実感しました。入国審査が終わると、現地のガイドさんが「Bula!」と温かく歓迎してくださいました。貝殻のネックレスもくださったので嬉しかったです。空港から出てバスに乗り、ナンディ市内のレストランや市場、スーパーなどを訪れました。まだ朝早いにも関わらず賑やかでした。市場では、キャッサバやココナッツなど多くの食べ物や、花などの植物が売られていました。その後フェリーに乗ってマナ島に行きました。ホテルに着くと、日本人のスタッフさんが迎えてくれました。日本語を聞いたとき、英語にまだ慣れていない私は少しほっとしました。ホテルではプールで泳いだり、近くの海でシュノーケルやカヤック体験をしたり、楽しい時間を過ごすことができました。また、食事とてもおいしかったです。

現地の人は明るく、親しみやすい方が多かったので、自分から英語で話すことができました。気持ちが通じ合うと嬉しい気持ちになることを学びました。英語というのは学校で学ぶ教科だけではなく、コミュニケーションの手段なのだと知りました。

私の将来の夢は客室乗務員になることです。そのためには、英語をもっと勉強する必要があります。その他にも身につけることはたくさんあると思います。例えば、フィジーの方々のような明るさや思いやりの心を持つことです。この派遣事業を通して、英語を話す自信を得ました。さらに、将来に繋がるヒントも得て、有意義な時間を過ごすことができました。



What I Gained in Fiji

Yumi Watada

For me, I had long wanted to become able to speak English well. The objective for the Overseas Training Program was to gain confidence about my English. The program gave me a good opportunity to try my English while participating in the activities such as learning Fijian food culture and working on environmental problems.

As soon as I arrived at the airport, I found all the signs were written in English, which made me realize that I arrived at last in the country where English was actually spoken. Passing the immigration inspection, a local guide welcomed me warmly saying “Bula!” and gave me a necklace made of seashells. Leaving the airport, I went to a restaurant, supermarket, and market in the city of Nadi. At the market, I saw lots of flowers and food like cassava and coconuts sold. Then, we went to Mana Island by ferry. At the hotel, a Japanese staff member welcomed us. When I heard the staff member speak Japanese, I felt a little relieved because I was not used to hearing English yet. I enjoyed swimming in the hotel pool. Also, I went snorkeling and kayaking in the nearby sea. The food served at the hotel was very delicious.

Since Fijian people were all cheerful and friendly, it was easy for me to talk to them in English. I learned that we feel happy when I can communicate our feelings. I came to know that English is a tool for communication, not what we have to learn at school.

My future dream is to become a cabin attendant. To realize my dream, I have to study English much harder. However, I think I need to learn more things besides English. For example, I need to become a friendly and considerate person like Fijians. Through the Overseas Training Program, I became confident in speaking English. In addition, I got some hints which would help me realize my future dream. Thus, the program was enjoyable and meaningful for me.

「フィジーを訪れて」

岡本 恋依（おかもと れい）



私はこの海外派遣事業で、「現地の人とフレンドリーに話す」、「日本とフィジーの生活や環境の違いについて知る」という目的を立てて参加しました。

フィジーでの活動は、私の中でとても貴重な体験になりました。私が心に残っていることは主に3つあります。1つ目は、現地の子供たちと交流したことです。私達で考えたレクリエーションで一緒にドッジボールをしたりフィジーのスポーツであるネットボールをしたりしました。また、フィジーと日本の数字の数を教えました。この活動で「現地の人とフレンドリーに話す」という目標を達成できたと感じました。2つ目は、環境保全活動です。1人1つずつパイナップルの苗やサンゴ礁を植え付けました。そこでフィジーの環境について教えてもらいました。3つ目は、シュノーケルをしたことです。海に入って魚を見たり泳いだりしました。そこで、海の底に私達が植え付けたサンゴ礁を見つけました。それらを見たとき、大きくなったらまたサンゴ礁を見てみたいと思いました。また、マナ島にいた2日間ともサンセットを見に行きました。とても素敵な景色でした。

私がフィジーで感じたことは2つあります。1つ目は、「Bula!」という挨拶です。すれ違ったときや、活動しているときも現地の方々が「Bula!」と声を掛けてくれました。声を掛けてくれたことが嬉しくて自分からも言うようになりました。2つ目は、下水処理場に行って、フィジーの水の現状について教えてもらったことです。水の出っぱなしは気をつけないといけないと思いました。

私はフィジーに行って目的を達成できたと思います。これから、水の対策やフィジーの生活や環境について学んだことを日本に伝えていきたいと思いました。このような経験が出来て、一生忘れられない思い出となりました。



Visiting Fiji

Rei Okamoto

I participated in the Overseas Training Program with the objectives of “talking friendly with Fijian people” and “understanding the differences of lifestyles and environments between Japan and Fiji.”

I worked on various activities in Fiji, which is one of the most precious experiences. In particular, the following three activities were very memorable for me. The first was the interaction with local children, where we played dodgeball and netball, Fiji’s traditional game. Also, we taught each other how to count numbers in our languages. Through this activity, I thought one of my objectives had been achieved. The second activity was about environmental problems. Each of us planted one pineapple seedling and one coral, and we were taught about the environmental problems in Fiji by local people. The third memorable activity was snorkeling. While snorkeling, I saw the coral reef in which we had planted a coral. I hoped I would come here again to see the grown corals. During my 2-day stay in Mana Island, I never missed seeing the beautiful sunset.

I had two impressions about Fiji. One is a Fijian custom of greeting. Most passersby said “Bula!” to me and during activities, we often exchange greetings. When I was greeted, I felt happy, and returned a greeting. The other was my visit to the sewage treatment plant, where I learned the current situation of water supply in Fiji. I made sure that I would never leave the water running in Japan, too.

I think I carried out the objectives I had set forth before visiting Fiji. Now, I would like to tell Japanese people what I learned in Fiji, including water supply issues, their lifestyles, and environmental problems. In Fiji, I had a really good experience that I will remember as long as I live.

「研修に参加して」

谷田貝 葉月（やたがい はづき）



私の研修での目的は、現地のことについてたくさん知ることと、現地でよく食べられているものについて知ることでした。また、現地の子ども達との交流の時に、少しでも多く話すことでした。私は特に、現地のことを知ることや、交流の時に話すことは達成できました。

現地では、私の中の想像」と違うものもありました。現地の子ども達は靴を履いている子が少なかったことや、日本のように時間どおりに行動するわけではないことです。そして、英語よりフィジー語を使っていたことです。だから、交流の時にうまく現地の子どもと話せない時もありました。でも、話しているときの雰囲気などで解釈して少し話せたので嬉しかったです。また、フィジーのお金は硬貨が色々な種類で、ドルやセントがあって驚きました。日本では5種類ですが、フィジーでは7種類あるそうです。絵柄も日本とは違って魚などが描かれていました。

フィジーは日本と比べると小さな島なので色々なところに行っても海が見えるところが素敵だなと感じました。また、フィジーの人達は「Bula」と何度も挨拶してくれました。私達が「Bula」と挨拶をしたら笑顔で返してくれたので嬉しかったです。日本では会釈で済ませてしまいますが、声に出して毎回挨拶してくれたので、文化の違いを実感しました。

この研修から、私は言葉が通じなくても伝えたいことは伝わること、挨拶をするだけでも人と通じ合えることを学ぶことができました。このことを生かして、今後は勇気をもって行動することを心がけたいと思います。今までは、自分から毎回挨拶をするわけではなかったのですが、挨拶をされると嬉しくなることを実感したので、今後は勇気を出して自分から挨拶を試みようと思います。また、他の国の文化について知りたいと思いました。これからたくさんの国について調べたり、実際に行ったりすることができるようになりたいと思います。



Participating in the Overseas Training Program

Hazuki Yatagai

I had three objectives for the Overseas Training Program. They were to know as many things about Fiji as possible, to know what food Fijian people usually eat, and to talk with local people as much as possible. Now, I think the first and third objectives were achieved.

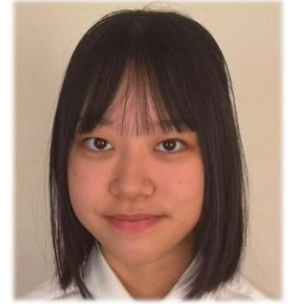
In Fiji, there were several things that I had not expected to see. For example, I saw few children wear shoes, and the local people were not always on time. Also, I found that the Fijian language was used more often than English. Therefore, I sometimes had difficulty talking with local children in English. I was pleased when we could communicate with each other by guessing what was talked about from the context and atmosphere. I was surprised to know there are two money units of dollar and cent, and there are many kinds of coins in Fiji. While we have five kinds of coins in Japan, they have seven kinds. Fish was engraved on some coins.

Compared with Japan, Fiji is a smaller island country. However, thanks to its small size, I could see the sea from anywhere. Whenever I said “Bula!” to local people, they returned “Bula!” to me with a smile. In Japan, we usually greet with each other by only making slight bowing. But in Fiji, they express their mind loudly. I think this is one of the cultural differences between the two countries.

Through the Overseas Training, I learned that I can communicate with others even though I can't speak their language, and that greeting will make it possible for us to communicate with each other. Learning from this experience, I would like to be active and confident. So far, I don't always greet to others when I meet them. However, now that I know greetings makes us feel happy, I will offer greetings before others greet me. Also, I became interested in knowing cultures of other countries. I will study them and someday soon, I want to visit those countries.

「忘れられないフィジー研修」

荒井 敬名（あらい けいな）



私がこの海外派遣事業に参加した目的は、日本の文化の魅力を現地の方々に伝えることです。

私は神社の家庭で育ち、花火や書道、お守りなどの日本文化に触れる中で、その美しさに惹かれてきました。そうした経験から、フィジーの方々に日本文化を紹介したいと思うようになりました。フィジーに到着した際、空港では現地スタッフが歌と演奏で歓迎してくれ、「フィジーに来たんだ」と実感しました。

初日は観光や食事を楽しみ、船でマナ島へ移動。強い風の中、青く美しい海に感動しました。島では現地の方々が「ブラ！」と元気に挨拶してくれ、どこから来たのか尋ねられるなど、とてもフレンドリーな印象を受けました。

中日は島を探検し、バナナやココナッツを味わいました。ココナッツは想像より甘くなく驚きましたが、貴重な体験でした。ビーチでは友達と写真を撮り、夕日を眺めながら楽しい時間を過ごしました。

最終日には高台から朝日を見て体操をし、念願の海ではシュノーケリングやカヤック体験をしました。海の中のサンゴ礁や魚はとても美しく、感動しました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、日本に戻ると安心感もありました。

この研修では、現地の人々の価値観や日本にはない文化の魅力など、さまざまなことを学びました。今後もこの経験を生かし、多角的な視点で物事を見ていきたいです。高校では留学制度があるため、次の機会にはホストファミリーにもフィジーの魅力を伝えていきたいと思います。



Unforgettable Overseas Training in Fiji

Keina Arai

The purpose for my participating in the Overseas Training Program was to let Fijian people know the attractiveness of Japanese culture better.

I am from a family taking care of a *Jinja* (*Shinto* shrine), and used to unique features of Japanese culture such as *hanabi* (fireworks), *omamori* (talismans), and *shodo* (calligraphy). I have been fascinated by the beauty of Japanese culture. Therefore, I wanted to introduce Japanese culture to Fijian people. On arriving at the airport, local staff members welcomed us with music. It was then that I realized that I was in Fiji at last.

On the first day in Fiji, I enjoyed sightseeing and a delicious meal, and moved to Mana Island by ferry. Though it was windy, I was impressed by the beautiful blue sea. In the island, local people greeted me saying “Bula!” in a cheerful voice. They also asked me where I came from showing an interest in me. I felt they were very friendly.

On the second day, we walked around the island and tried eating bananas and coconuts. Coconuts tasted not as sweet as I expected, but eating them was good experience for me. On the beach, I took a lot of pictures and had a good time seeing the sunset with my friends.

On the last day in the island, I saw the sunrise from the hill where we did exercise. Then, I went snorkeling and kayaking, which I had been looking forward to. The sea, fish and coral reefs in it were so beautiful that I forgot about the time. At the same time, I relaxed because I knew that I would return to Japan the next day.

Through the Overseas Training, I learned various things, including Fijian people’s sense of value and Fijian culture which was different from ours. Making the best use of my experience in Fiji, I would like to look at things from multiple viewpoints. The high school I am supposed to enter has a study-abroad program. When I go to a foreign country to study abroad, I will tell my host family about the charm of Fiji.

「文化を伝えて、心をつなぐ旅」

古郡 康汰郎（ふるこおり こうたろう）



今回の海外研修での課題だったのは、日本の文化を他国に発信するということでした。僕は現地の人たちに「紙飛行機」を教えました。現地の子供も達は紙飛行機を折ってたくさん飛ばしていました。飛ばしているときの表情はとても楽しそうでした。フィジーの文化も教えてもらいました。やはりスポーツ、特にラグビーを教えてもらいました。ほとんどの子が上手でした。このようになにか遊ぶ時には、言語の壁なんてないと思いました。

現地での様子としては日本ほど気温が高いわけではなかったのもとても過ごしやすかったです。そして何より海がとても綺麗でした。透明度が高くて綺麗なサンゴ礁と魚をたくさん見ることができました。この海に沈む夕日は日本で見た時よりも綺麗に見えました。

感じたことや思ったことは、フィジーの人達はとても友好的でした。はじめましての挨拶はだいたい握手でした。そしてすれ違いざまには必ず「ブラ」と声をかけてもらいました。日本でも挨拶をされて嫌なことはなかったので大きな声でブラと返しました。日本でも継続して大きな声で挨拶していきたいです。あとはフィジーの車線が日本と同じ左側で日本車がほとんどでした。そのなかでもトヨタが多かったです。日本じゃないところでも日本車が使われているところを見て、フィジーとの関係が深いというところに気が付きました。

僕は今後、留学生の受け入れ、ホームステイ先として留学生を受け入れたいです。今回の研修で不安だったことなどをなくしてもらって最高の日本生活を送ってもらいたいです。そしてその子の出身国のことをたくさん聞いて関係を深め、たくさん互いの国を知ってもらいたいです。今度海外に行くときにはたくさんの友達を作って帰ってきたいです。



The Trip of Exchanging Cultures and Connecting Hearts

Kotaro Furukori

The task I assigned to myself in the Overseas Training Program was to introduce Japanese culture to foreign people. I taught how to make a paper plane to local children. They enjoyed making their paper planes, and looked very happy when they flew the planes they had made. In turn, they taught me some features of Fijian culture. Among them, I was interested in rugby, which most of the local children were very good at. Playing with them, I realized that there were no language barriers as long as we enjoyed playing together.

Since Fiji was not as hot as Japan, I spent the days in Fiji very comfortably. Above all, the sea was very clear and beautiful. I could see a lot of fish and coral reefs. The sunset over the sea looked more beautiful than I had expected in Japan.

I found that Fijian people were very friendly. When we first met, we shook hands, and whenever I pass by others on the street, they said to me “Bula!” Because I like to exchange greetings in a loud voice even when I am in Japan, I returned “Bula!” to them. I will continue to greet others in a loud voice in Japan. I also found that cars drove on the left side in Fiji like in Japan, and that most cars were made in Japan, majority of which were Toyota cars. Seeing them, I noticed the close relationship between Japan and Fiji.

In the future I would like to accept exchange students at my home as a host family. Making the most of my experience in Fiji, I will make it comfortable for them so that they can enjoy their lives in Japan to the fullest. By doing so, I want to know as many things about other countries as possible, and develop strong relationships with them. When I visit a foreign country next time, I want to make many friends there.

「夢への一步」

内田 真優（うちだ まゆ）



私の海外派遣での目的は2つあります。

1つ目は、困難なことがあっても何事も楽しみ、乗り越える力に変え、初めての海外を楽しみたい思い出にすることです。2つ目は、自分自身の英語力がどのくらい通用するかを知ることです。日本で学んだ英語を、英語が母国語の国に行き、英語だけで過ごすという体験はより多くの学びがありました。現地でしか見て感じるこのできない景色、環境、日本との違いがたくさんありました。

現地の体験で特に心に残っていることは、現地の学生との交流です。自己紹介をしたり、お互いの国のスポーツで一緒に遊んだりしました。自分の自己紹介は準備をしていたので特に難しくはなかったのですが、現地の人の英語の聞き取りは苦戦しました。相手の名前が聞き取りづらく、聞き返すこともありましたが優しくスペルまで教えてくれました。英語を使って実際にコミュニケーションをとることで、自分の英語力を高めることもできたと思います。英語のコミュニケーションを通して、英語を母国語としている方達の話すスピードはとても速く、自分のヒアリング力の向上がもっと必要だと感じました。また、自分の言いたいこともスムーズに出てくるように語彙力の強化も必須だと感じました。

普段の私はよく明るい性格だと言われますが、初めての海外はとても不安でした。しかし、何事もポジティブにとらえること、楽しむ気持ちを大切にし、笑顔を意識したこともあり、全ての思い出が楽しいものになりました。現地の学生との交流では、英語で会話しながら相手に伝わるように話したり、相手の話を理解しようと努力したこと、時にはうまく会話がかみ合わなかったり、伝えたいことが伝わらなかったりすることもありましたが、みんなで楽しみながら終始、笑顔で交流の時間を過ごすことができました。

私は将来、海外とつながる仕事に就きたいと考えています。そのためにも、今回の海外派遣で大切にしたい「何でも楽しむ！」という気持ちを忘れず、自分の夢を叶えられるよう努力していきたいです。



A Step Forward to My Dream

Mayu Uchida

I set up two objectives when I decided to participate in the Overseas Training Program.

The first was to enjoy my first stay in a foreign country, overcoming any difficulty I may encounter there to change it to a positive memory. The second was to check how well I could make myself understood in English that I had learned at school. I learned a lot of things while staying in Fiji where English was actually spoken. Also, I saw various scenes and environments unique to Fiji and completely different from those of Japan.

The most memorable activity for me was the interaction with local students. In the activity, we introduced ourselves to each other, and played games from both countries. Since I had prepared my self-introduction, I had little difficulty talking about myself in front of the local students. However, it was difficult for me to listen to them talk because they spoke English too fast. I sometimes had trouble catching their names, and I asked them to say their names again. They were patient and kind enough to repeat their names and showed me how to spell. I think I improved my English skills through this activity. However, I need to improve my listening skills in order for me to keep up with native English speakers. Also, I need to increase my English vocabulary so that I can express myself better and more smoothly.

Though other people often say that I am a bright and cheerful person, I was anxious about my first overseas trip. I decided to try to look at the bright side of things, enjoy everything, and keep smiling. As a result, I could make all the memories in Fiji enjoyable. While communicating with local people in English, I tried to talk to them in a way that they could understand what I said, and listen carefully to them talk. Though we sometimes had a hard time to understand each other well, we enjoyed the interaction with full of smiles.

In the future I want to take a job related to overseas activities. To realize the dream, I will keep the spirit of “I will try and enjoy everything,” which I learned from the training in Fiji.



令和7年度 高根沢町中学生海外派遣事業

フィジー共和国派遣 報告書

令和7年12月発行

